



学校だより 2月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

【た】くましく生きる人 【な】かよく生きる人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>



みのたなくん

新様式での実施⑤とGIGAスクールの準備

校長 酒井 浩明

緊急事態宣言の再発令から間もなく、1か月が経とうとしています。

現在、学校の教育活動にも発令前と比べ制限がかかる状況が続いています。

さて、このような中ではありますが、9月の授業参観を見送っておりますので、今年度初めての授業参観を、1月に感染症対策をしっかりとした新様式で行いました。

参観された保護者の皆様は、その様子をご理解いただいておりますが、地域の皆様には、この紙面にて新様式の授業参観について、説明させていただきます。

具体的には、1月18・19・20日の中休みを挟んだ2・3校時に、保護者入替制で授業参観を行いました。

密を避けるため各家庭の保護者1名を、各時間各学級5名程度になるように、参観日時を指定しました。

そして、参観する保護者は、教室の中に入らずに、北側の窓を細く開けた換気のよい廊下から、教室側の開けた窓から教室内をのぞき見る形で参観していただきました。

また、検温してマスクを着用して来校していただき名前と体温の記入をお願いしたり、昇降口の手指消毒用のアルコールの利用を促したりして実施しました。

さらに、保護者の方の都合が合わない場合は、保護者間で連絡を取り合って交換してもらい、密にならないように配慮していただきました。

実際の授業は、授業形態に制限がかかっているので、前向きで一人ひとりが考えたり、発言したりするようなものが多くなりました。

しかしながら、特に1・2年生の保護者にとっては、小学校の様子や宣言発令下での授業を見ていただくよい機会となったのではないかと考えています。

文部科学省は、ICT（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー：情報通信技術）の活用が日常になる将来の生活に、児童がよりよく適応することができるように、「GIGAスクールの実現」を示しています。

現在本市では、新型感染症拡大により、登校が困難となる事態を想定し、GIGAスクールの実現に前倒で取り組んでいます。

本校では、ハード面で一人一台のタブレット型コンピュータの導入に向けた「校内LAN設備の増強や保管庫の設置」が進んでいます。

また、ソフト面では、オンラインによる学習活動時における「情報モラルや個人情報等の保護、機器使用上の遵守事項に関する指導」を終えるとともに、「学校のYouTube公式チャンネル」を開設し、各家庭の機器で試聴してもらいました。

さらに、クラウドサービスの「ロイロノート・スクール」を使用した双方型の学習活動に向け、アプリケーションの操作練習の授業を各学級で行い、年末に家庭での動作試行や動画の試聴してもらいました。

加えて、令和2年度から、教職員研修や説明会の一部が、クラウド上の「動画」を使ったものに置き換えられたり、各教科の指導法の研究会では、「Zoom」や「Teams」などを使ったWeb会議や相談なども行われ始めたりしています。

実際に「Zoom」などを使用してみると、移動時間が短縮できるメリットを感じる一方、今までの直接会って会議や相談をした人間関係の実績がなかったら難しいのではないかと感じる場面もありました。現在の顔を合わせてする指導のよさの中で、ICTを生かす指導法を探る大切さを強く感じました。



<5組花壇のミニ葉牡丹>